

## 面接調査書

受験番号	※
------	---

※印欄は記入しないこと

東京学芸大学大学院教育学研究科（修士課程）

フリガナ		志望する専攻・プログラム	専攻プログラム	
氏名			国立	大学
生年月日	年 月 日生	出身大学	公立	学部
年齢	2026.4.1現在(満 歳)	卒業年月	私立	卒業見込

修士課程を構成する専攻・プログラム	入学後に予定している主たる研究領域 ※志願する専攻・プログラムの研究領域のうち必ず1つのみにチェックを入れること。 ※『東京学芸大学大学院教育学研究科（修士課程）案内』「専攻・プログラムの教育研究の概要」又は本学修士課程ウェブサイト「教育組織・教員紹介」（学生募集要項4頁にURL記載）を参照のこと。
-------------------	--

教育支援協働実践開発専攻	教育A I 研究プログラム	<input type="checkbox"/> 情報A I <input type="checkbox"/> コンピテンシー・学校心理 <input type="checkbox"/> 教科内容・実践（文化） <input type="checkbox"/> 教科内容・実践（身体） <input type="checkbox"/> 教科内容・実践（環境）
	教育協働研究プログラム	<input type="checkbox"/> 生涯学習 <input type="checkbox"/> 文化遺産教育 <input type="checkbox"/> ソーシャルワーク <input type="checkbox"/> 生涯スポーツ <input type="checkbox"/> 多文化共生教育 <input type="checkbox"/> 表現教育 <input type="checkbox"/> アート <input type="checkbox"/> デザイン <input type="checkbox"/> 教育行政

希望する指導教員（希望がある場合は記入すること）	
(主)	(副)

入学志願理由	
--------	--

## 【記入上の注意】

- 全て自署により記入することを原則とする。
- 「希望する指導教員」欄について
  - 指導教員の希望は、主・副とも、希望がある場合に記入してください。なおこの記入にあたって、当該教員の事前の了解は必要ありません。
  - 入学後の指導教員は、ここに記載された希望どおりとならないことがあります。また、この指導教員の希望や入学後の研究領域の記載は、合否には影響しません。

主指導教員とは：志望する専攻（選択するプログラム）の担当教員1名が主指導教員として、入学後の指導を担当します。

副指導教員とは：主指導教員が必要と認めた場合、入学後に所属する専攻（選択するプログラム）にかかわらず、他専攻（教職大学院を含む）担当教員1名に指導を依頼することができます。また、自専攻・プログラムの担当教員で、主指導教員になれない教員からの指導を希望する場合、副指導教員として指導を受けることになります。

<p>大学在学中 及びその後に 行った研究</p> <p>※文書による 説明では不 足する研究 成果等があ る場合は、 ポートフォ リオにまと めて提出す ることも可。ポー トフォリオを 提出する場 合は、その 旨を明記す ること。</p>	
<p>入学後研究 したい事項</p>	<p>研究テーマ</p> <p>研究内容</p>

【両面で印刷すること】